

## 令和7年度ひみ未来づくりミーティング議事録（久目地区）

日時	2025/8/18 19:00～
場所	久目地区交流館
出席者	33名 市長、政策統括監、総務部長、企画政策部長、市民部長、産業振興部長、建設部長、教育次長、防災・危機管理監、消防管理監、地域振興課、地域担当職員
進行	19:00～19:04 市長あいさつ 19:04～19:05 出席者紹介 19:05～19:38 市政の概要について（市長説明） 19:38～20:31 意見交換 20:31～20:33 閉会あいさつ 市長、地区代表

	質問の内容	回答
1	<p>■ふれさかパンプキン愛について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業関係の補助金をもらっていて、耕作放棄地を無くしたいと思って活動している。・パンプキンワールドカップの際に、市長にいらしていただいて、学校給食用にカボチャの贈呈式をしたい。</li> <li>・来年から、氷見の給食でふれさかパンプキン愛のカボチャを買ってほしい。</li> <li>・ふれさかパンプキン愛の作業所に女子トイレを作りたいので、補助金が欲しい。</li> <li>・中山間地域の活性化を理念に活動してしている。ぜひ、氷見市のトップの皆さんと一緒に中山間地域の活性化について話し合いたい。</li> <li>・触坂を中山間地域活性化の特区にしてほしい。</li> </ul>	<p>■教育次長</p> <p>学校給食でのカボチャの活用について、学校給食センターの職員と事前に話をしたところ、</p> <p>①どんなカボチャであるか(育て方、使っている農薬等)</p> <p>②指定した日時に指定した量を納品してもらえるか</p> <p>という条件がクリアできれば受け入れたいということであったので、一度、学校給食センターから相談させていただきたい。</p> <p>■市長</p> <p>中山間地域の活性化はとても大切だと思う。皆さんの力をこれからもお借りしたい。</p>
2	<p>■地域おこし協力隊について</p> <p>1地区には2人以上の協力隊は入れられないと言われた。先に、違うミッションであればOKと言われたが、今年はずりだめだった。去年は9月から募集が始まるといわれたのに、実際の募集が始まったのは11月。準備に4か月かけたのに、募集期間が1か月しかなかった。8月前までに募集記事を出してほしい。複数人入れる理由は、仲間がいない、知り合いがいないところに1人で3年間やってほしいというのは、心細い。</p> <p>中山間地域には1年ずつずれて、1地区3人は入れられるようにしていただきたい。</p>	<p>■企画政策部長</p> <p>地域の課題解決というところで、人の支援とお金の支援をしている。まずは1つの課題に対して、地域でまとまって解決してもらおう。そのため、これまでも、1地区に1人という形で入れている。昨年度から、9月補正で予算化し、募集を開始している。去年は遅かったのが、今年はその反省を活かして、早めに開始できるようにしている。来年度は各地域や団体から6名の募集希望をいただいている。地域おこし協力隊の人件費及び活動費も出している。</p> <p>■市長</p> <p>来年度に向けて、課題として考えていきたい。</p>

3	<p>■久目地区交流館の運営について 交流館を一般向けに開放している。自由に来て、屋内で遊べる場所ということで、ニーズはあるが、体育館でガラスが割られた分は地区で負担するなどの問題がある。そこで、地区で子どもの見守りができるように、サービスを展開する地区には、おらっちゃん創生に上乘せする形で補助を増やしてもらえないか。</p>	<p>■教育次長 廃校施設を所管する文化振興課は、主に施設の維持管理を行っている。ここも老朽化が進んでおり、ランニングコストが嵩んでいる。そういったコスト面と活用の観点で、今後、話をさせていただきたいと思う。</p> <p>■企画政策部長 事業主体がどうなるかが問題かと思う。地域で整理してもらって、相談してもらえればと思う。雨が降った時に遊べる場所が欲しいという声はよく聞くので、参考にさせていただきたい。</p> <p>■政策統括監 スポーツ少年団であれば、スポーツ少年団の保険や費用でガラスが直せる。地区で保険に入るかということについては、相談してもらえたらと思う。</p>
4	<p>■コミュニティーセンター化について 将来的には、久目地区交流館をコミュニティーセンター化して、経済活動もできるような施設にしてほしいと思っているが、今後の方針はどうか？</p>	<p>■企画政策部長 コミュニティーセンター化については、地域づくり協議会が23地区全部できれば、公民館すべてをコミュニティーセンターにする考え方で進めている。</p>
5	<p>■女性の人口を増やすことについて 女性の人口を増やすための補助金として、女性が輝く補助金の利用数は？</p>	<p>■産業振興部長 若者女性が活躍する企業づくり支援補助金及び女性が輝くオフィス進出促進事業補助金は、何件か興味のある事業者はあるが、まだ申請はない。</p>
6	<p>■地域おこし協力隊について 協力隊を積極的に採用することは、女性の移住を増やすことになる。そして、久目に限らず、一地区でも様々な団体が活動しており、地域の課題は3年では解決しないので、一地区一人と言わず、積極的に採用してほしい。</p>	<p>■企画政策部長 今も活躍している女性の隊員もいるが、できるだけ、女性の方々に来てもらえるように配慮してやっていきたい。</p> <p>■市長 協力隊も含めて、いろいろな方面で市も女性を増やすチャレンジをしていきたい。</p>
7	<p>■水災害について 先日の大雨により、上庄川の水があふれて、交流館前の川がはん濫して、かぼちゃ畑が水没した。水害対策について、手を打ってほしい。</p>	<p>■建設部長 近年、局地的な豪雨があるが、過去の計画雨量に基づき河川改修を進めており、予想を超える集中豪雨が発生しており追いつかないのが現状である。上庄川の川底の泥上げを行い通水断面を確保することが有効であるため、管理している県に要望していきたいと考えている。(翌日8/19に、浚渫について県へ伝えた)</p>
8	<p>■避難所について 久目地区交流館は避難所になっているが、水災害になると西の杜等に避難となっており、その時に避難するとなると、高齢者の避難をどうすればいいのか。民生委員に頼られても困る。</p>	<p>■防災・危機管理監 要配慮者の個別避難計画を作成することになり、民生委員の負担が大きくなっているところがあるが、市社協や地域とも協力して、要配慮者の避難先を考えていきたい。また、市が設置した避難所だけではなく、地区防災計画に個別の避難所を設定して、柔軟に地区で安心なところに避難していただければと思う。</p> <p>■市長 県内でも、地区防災計画が全地区にあるのは氷見市だけで、これからも地域の状況を把握しながら進めていきたい。</p>
9	<p>■イノシシ対策について 人手も足りない。電気柵の補助金以外にも、何か有効な対策があるのか。</p>	<p>■産業振興部長 草刈り、電気柵というのが基本になるかと思うが、それ以外の対策については農林畜産課で相談してほしい。また、農村RMOが久目地区でスタートしたため、そういった補助金も活用して対策していただきたい。</p>

10	<p>■買い物支援について 12月中旬ごろに久目支所がなくなる。地区内の商店は1件、金融は郵便局のみ。買い物支援は、地区レベルで対応する問題ではないと思う。早急に市でチームを立ち上げて検討していただきたい。</p>	<p>■市民部長 各地区の実情に応じて対応してもらっているが、これから人口が半減していく中で、広域的に考えていく必要があると思うので、今後も検討していきたい。</p> <p>■企画政策部長 公共交通も、久目地区ではNPOバスで頑張ってもらっており、どのように維持していくか、その視点も取り入れて検討していきたい。</p> <p>■市長 これから、人口減少を止めることはできないので、どのように暮らしやすい地域を作れるか今後も考えていきたい。</p>
----	---	--